Hatsuyuki

キューブアイススライサー
アイススライサー&クラッシャー

取扱説明書

キューブアイススライサー

型式/
HC-120

アイススライサー&クラッシャー

型式/
CS-120

●このたびは、初雪キューブアイススライサー、アイススライサー&クラッシャーをお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。
●この製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。なお、正しくご使用されなかった場合は、保証対象外となります。
●お読みになったあとは必ずいつも手元においてご使用ください。

お客様用

もくじ

■安全上のご注意 …… 1
■各部のなまえとその働き・付属品 … 4
■注意ラベルの貼付位置 …… 5
■設置と運転前の確認 …… 6
■ご使用方法 …… 7
●運転の手順 …… 8
●排水について …… 9
●プロテクターについて …… 10
●安全スイッチについて …… 10
■刃物の交換のしかた …… 11
●スライス刃物の取り外し・取り付け方 …… 11
■お手入れ …… 12
●毎日のお手入れ …… 13
●一週間に1回のお手入れ …… 14
●汚れが目立つときのお手入れ …… 15
■点検 …… 16
●1年に1～2回の点検 …… 16
●保管方法 …… 16
■故障の見分け方と処置方法 … 17
■譲渡・廃棄 …… 17
■仕様 …… 18
保証書・アフターサービスについて…巻末

CHUBU
株式会社 中部コーポレーション

安全上のご注意

●ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
●表示と意味は次のようになっています。

⚠ **警告**	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が、想定される内容を示します。
⚠ **注意**	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、*物的損害の発生が、想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を示します。

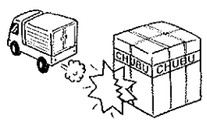
図記号の例

感電注意	△は、注意（危険、警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
分解禁止	⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「分解禁止」を示します。
プラグを抜く	●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差込みプラグをコンセントから抜くこと」を示します。

⚠ 警告

お手元に届いたら、すぐに運送上の損傷がないかチェックすること

もし損傷があれば販売会社へ損傷の状況を（梱包箱と共に）連絡してください。損傷のまま使用しますと、感電、火災、ケガの原因となります。



損傷確認

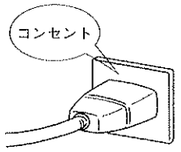
アース工事を必ず行なうこと

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。（電気工事業者によるD種接地工事が必要です。）

アース工事

電源は専用コンセントを使用すること

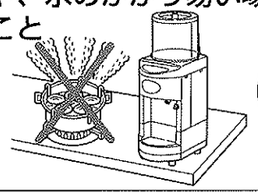
電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用及びタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



専用電源

湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと

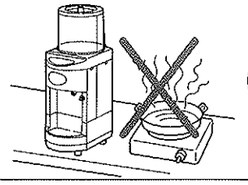
絶縁低下から漏電、感電の原因になります。



湿気禁止

熱器具（ガスコンロ等）を周囲に置かないこと

熱でプラスチックが溶けたりして危険です。



熱器具禁止

この製品は業務用ですので子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところに設置しないこと

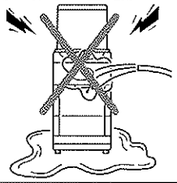
感電、ケガの原因になります。

禁　止

⚠ 警告

製品に直接水をかけないこと

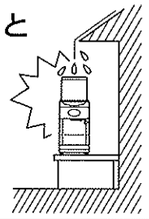
ショート、感電、錆び、故障の原因になります。



水掛け禁止

屋外で使用しないこと

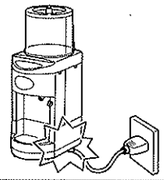
雨水のかかる場所で使用されますと、漏電・感電の原因になります。



屋外禁止

電源コードを傷つけたり、汚さないこと

加工したり、引張ったり、たばねたり、重いものを載せたり、はさみ込んだり、また汚したりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。



禁　止

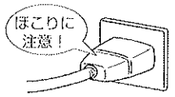
異常時は、電源スイッチをOFF（切）にして電源プラグを抜き、元電源を切って、すぐに最寄の販売会社へ連絡すること

異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。

プラグを抜く

電源プラグの刃及び刃の取り付け面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタツキのないように刃の根元まで確実に差し込むこと

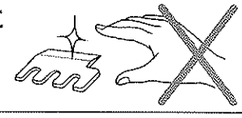
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。



点検掃除

切削室内の掃除や点検・刃物交換のときは必ず電源スイッチをOFF（切）にして電源プラグを抜き、手袋をはめておこない、刃先に直接手を触れないこと

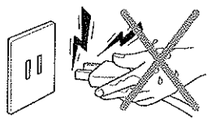
ケガの原因になります。



プラグを抜く

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

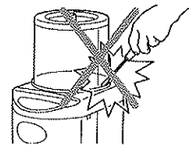
感電の原因になります。



濡手禁止

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理しないこと（刃物交換・お手入れ作業は除く）

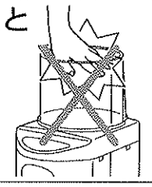
異常作動してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。



分解禁止

運転中に投入口フタを開けたり、切削室の中に手を入れないこと

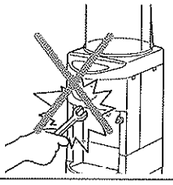
ケガの原因になります。



禁　止

改造は絶対におこなわないこと

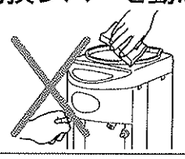
改造工事をされると、感電、火災の原因になります。



改造禁止

掃除や点検などで、切削室内に手を入れるときは、刃物切換レバーを動かさないこと

ケガの原因になります。
（CS-120のみ）



禁　止

氷出口や切削室内に手、指を入れた状態で刃物切換レバーを切り換えないこと

指をはさみ、ケガの原因になります。
（CS-120のみ）

禁　止

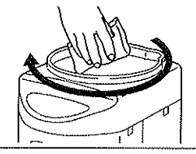
漏電遮断器を使用している場合、OFF（切）に作動した時には、最寄りの販売会社へ連絡すること

無理にON(入）にすると、感電や火災の原因になります。

漏電連絡

切削室内を掃除する時は、必ず刃物を切削室内面より下げ、拭く時は必ず時計方向に拭くこと

ケガの原因になります。

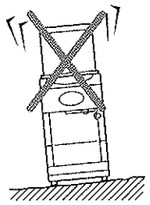


掃除注意

⚠ 注意

丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

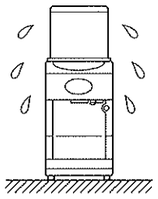
据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。



水平設置

水滴が落ちてもよいところに据え付けること

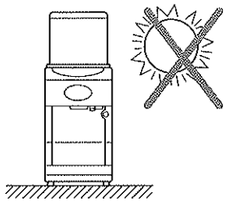
結露の水の洩れ、かき氷の飛び散りなどで周囲の機器を濡らすことがあります。



設置場所

直射日光の当るところで使用しないこと

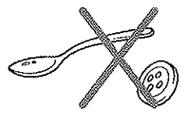
プラスチックが割れたりして危険です。



禁　止

切削室の中に氷以外の異物（スプーン・つま楊枝・ボタンなど）は入れないこと

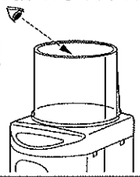
モーターが止まり、発熱、火災の原因になることがあります。



異物禁止

運転中にモーターが止まったときは、必ず電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグを抜き、削った氷は捨て、氷以外の異物（スプーン・つま楊枝・ボタンなど）や刃物の破片が切削室の中にないことを確認すること

ケガの原因になることがあります。



異物確認

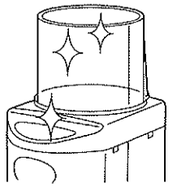
掃除するときや点検のときは、必ず電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグも抜くこと

思わぬところに水が入って感電したり、製品が動き出してケガの原因になります。

プラグを抜く

切削室・氷出口は使用前に必ず掃除をすること

掃除をしないと、雑菌が繁殖し、健康傷害の原因になることがあります。



掃　除

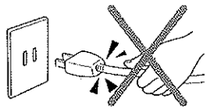
可燃性スプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと

スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。

禁　止

電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

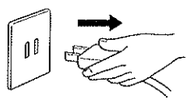
必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。



禁　止

1日の営業が終了したら、安全のため電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグをコンセントから抜くこと

電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になることがあります。



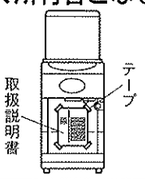
プラグを抜く

廃棄は専門の業者か、最寄の販売会社に依頼すること

放置しますとケガの原因になることがあります。刃物の廃棄は危険な物として処理してください。

専門業者

このお使いになっている製品を他に売ったり、譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つ所にテープ止めすること



テープ止め

■使用目的

●HC-120…キューブアイススライサー

・キューブアイス又はチップアイスからスライス氷(かき氷）を作るための製品です。

●CS-120…アイススライサー＆クラッシャー

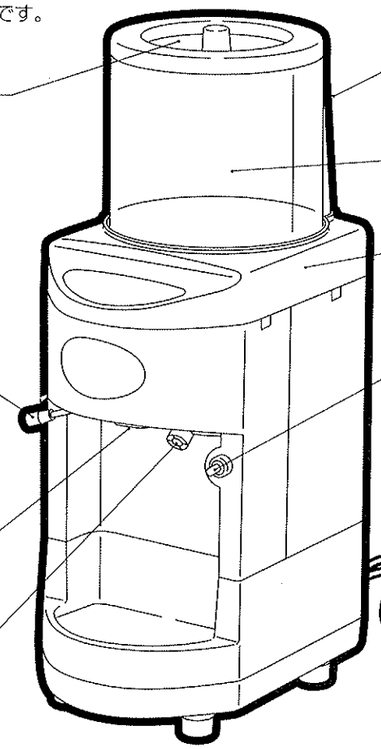
・キューブアイス又はチップアイスからスライス氷(かき氷）を作るための製品です。

・キューブアイスからクラッシュ氷をつくる製品です。

※キューブアイスとは製氷機でつくる約3㎝角の氷です。

・いずれの製品でもロックアイス（不定形の氷）は、約3㎝角にしてからご使用ください。

■本体 *イラストはCS-120です。



投入口フタ
開けて氷を投入します。この下に切削室があります。

刃物切換レバー
スライスとクラッシュを切り換えます。【CS-120のみについてます。】

�氷出口
削られた氷・砕かれた氷がここからでてきます。

刃物調節ツマミ
スライスの粗さを調節します。

ストッカーカバー
フタを取ると氷の投入口があります。

ストッカー
内部にあります。

頭フレーム

電源スイッチ
運転・停止の操作に使います。

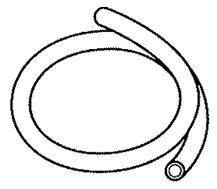
電源コード
先端のプラグを単相100V専用コンセントにつなぎます。

アース線
万一の感電防止のため必ずアース工事をします。

■付属品

予備刃物（１個）

氷旗（１個）



排水ホース(1個)

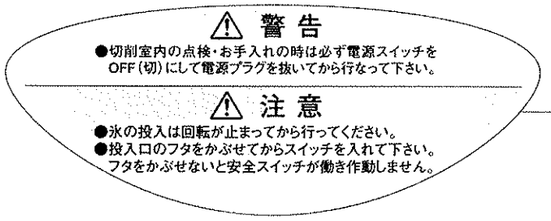
取扱説明書（本書）

■注意ラベルの貼付位置

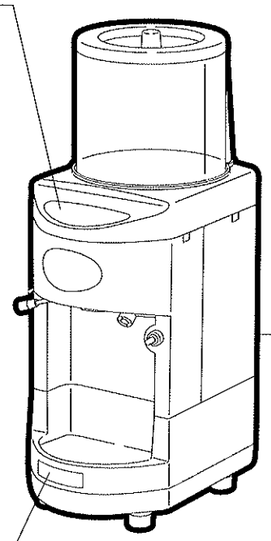
お願い

- ●ラベルを剥がさないでください。
- ●ラベルが剥がれたり、文字が消えたりした場合は、販売会社より購入し、貼り替えてください。
  ご注文のときは、ラベルの品名をご指示ください。

品名：警告・注意ラベル 034



（正面の上に貼り付けてあります。）



品名：PLラベル 701

	⚠ 警告
よく読む	この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになるまえに取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。

（本体前面の下部に貼り付けてあります）

品名：PLラベル／カンデン 702

	⚠ 警告
感電注意	感電のおそれあり アース工事を必ず行うこと アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないこと アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

（本体背面に貼り付けてあります）

■設置

⚠ 警告

アース工事を必ず行なうこと

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。（電気工事業者によるD種接地工事が必要です。）

アース工事

電源は専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用及びタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。

専用電源

この製品は業務用ですので子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところに設置しないこと

感電、ケガの原因になります。

禁　止

湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと

絶縁低下から漏電、感電の原因になります。

湿気禁止

熱器具（ガスコンロ等）を周囲に置かないこと

熱でプラスチックが溶けたりして危険です。

熱器具禁止

⚠ 注意

水滴が落ちてもよいところに据え付けること

結露の水の洩れ、かき氷の飛び散りなどで周囲の機器を濡らすことがあります。

設置場所

丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。

水平設置

直射日光の当るところで使用しないこと

プラスチックが割れたりして危険です。

禁　止

■運転前の確認

- ●電源は交流100Vに接続してください。
  使用電源電圧は90V～110Vでお使いください。但し発電機は使用しないでください。発電機使用時の故障は保証いたしません。
- ●初めてお使いになる時は、保管時にホコリ・ゴミなどが切削室に入っている恐れがありますので、切削室内の掃除をしてください。（P.14　毎日のお手入れ参照）

■その他

- ●チップアイスを使用してのかき氷（スライス氷）について。
  お使い初めに、チップアイスを投入しますと、切削室の表面温度が高く、一杯目は質の良くない(水気の多い）かき氷(スライス氷）になることがありますので、ご注意ください。
- ●地域によっては、イベント等での氷削機の使用が許可されていない場合がありますので当該機関（保健所等）までお問い合わせください。

ご使用方法

⚠ 警告

運転中に投入口フタを開けたり、切削室の中に手を入れないこと

ケガの原因になります。

異常時は、電源スイッチをOFF（切）にして電源プラグを抜き、元電源を切って、すぐに最寄の販売会社へ連絡すること

異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

感電の原因になります。

⚠ 注意

切削室の中に氷以外の異物（スプーン・つま楊枝・ボタンなど）は入れないこと

モーターが止まり、発熱、火災の原因になることがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。

運転中にモーターが止まったときは、必ず電源スイッチをOFF（切）にし、電源プラグを抜き、削った氷は捨て、氷以外の異物（スプーン・つま楊枝・ボタンなど）や刃物の破片が切削室の中にないことを確認すること

ケガの原因になることがあります。

1日の営業が終了したら、安全のため電源スイッチをOFF（切）にし、電源プラグをコンセントから抜くこと

電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になることがあります。

可燃性スプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと

スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。

お願い

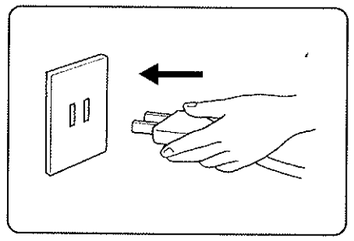
（1）霜がつくほど冷えた氷は硬すぎて切削には不適当です。透明になるまで待って使用してください。硬すぎる氷を使用して削られた氷は、粉のような「かき氷」になり、綿のような本来の「かき氷」にはなりません。また、刃物の刃先が曲がったりして、削れなくなることもありますので、必ず透明になるまで「ゆるめ」てからお使いください。

（2）クラッシュとスライスの切換は製品の運転中に行なわないでください。故障の原因になります。〔CS-120のみ〕

（3）切削室に残ったキューブアイスは取り出せません。「投入量のめやす」（P.8）を参考にしてください。

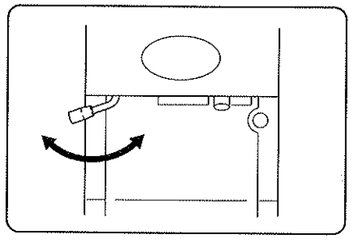
（4）製品の上に物を載せないでください。

■運転の手順



1 電源プラグを差し込む。

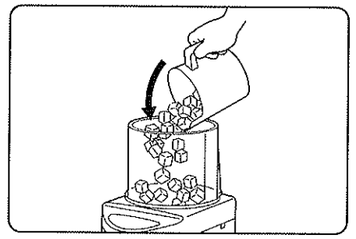
●電源スイッチがOFF（切）になっていることを確認し、電源プラグをコンセントに差し込んでください。



2 刃物切換レバーをあわせる。〔CS-120のみ〕

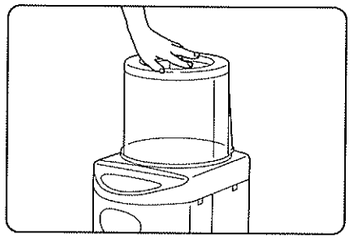
●かき氷が必要なときはスライスに、クラッシュ氷が必要なときにはクラッシュに合わせてください。

※刃物切換レバーの操作は、氷のないときに行なってください。また、運転中には行なわないでください。



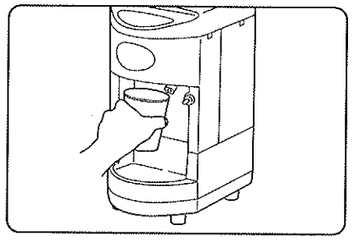
3 キューブアイスを入れる。

●製品が止まっていることを確認し、投入口フタを開けてください。
●必要量の氷を入れてください。
●投入量は投入口から1cm下がったところまでに均一に入れてください。かたよりは振動の原因になります。
投入量のめやす…1杯200gの場合キューブアイス8～9個
投入可能量…約120個



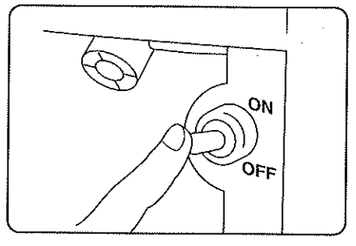
4 投入口フタを確実に閉める。

●確実にフタが閉まっていないと安全スイッチが働き製品が動きません。



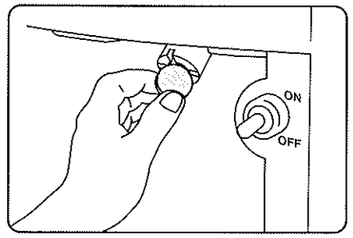
5 カップなどで受ける。

●スライスのときは、氷出口の下にカップなどで受けてください。
●クラッシュのときは、適当な容器で受けてください。〔CS-120のみ〕



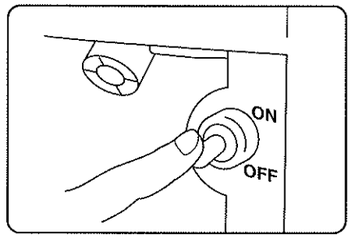
6 電源スイッチをON（入）にする。

●運転が開始されます。
※運転中は、投入口フタを開けないでください。ケガの原因になります。



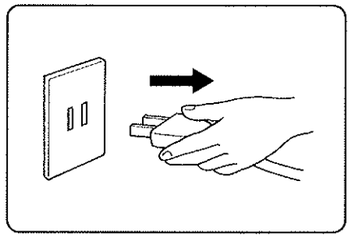
7 氷削粗さを調節する(スライスの場合)

●刃物調節ツマミをコイン等でまわして、お好みの粗さに調節してください。(標準粗さ約1㎜)
●右へまわすと粗くなり、左へまわすと細かくなります。
●刃物調節ツマミ1回転で約1mm動きます。(回転可能範囲2～3回転)



8 電源スイッチをOFF(切)にする。

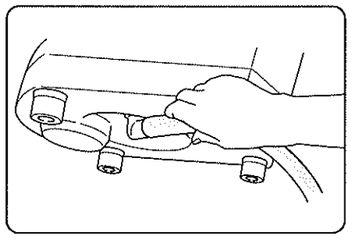
●運転が停止します。



9 使用後は電源プラグを抜く。

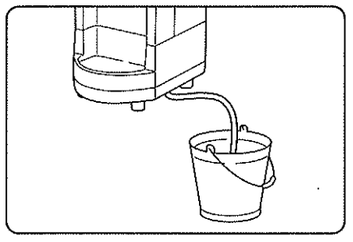
●1日の営業が終わったら、電源プラグをコンセントから抜いてください。

■排水について



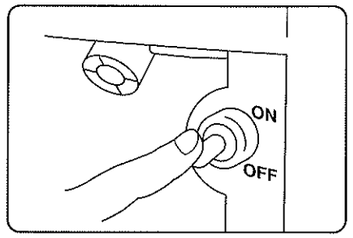
1 ご使用方法

●製品を傾けて、裏側中央の排水パイプに付属の排水ホースを差し込んでください。
●排水ホースは左右と後ろから引き出すことができます。
●排水ホースより流出する水をバケツ等で受けてください。

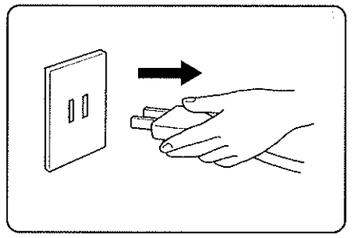


■プロテクターについて

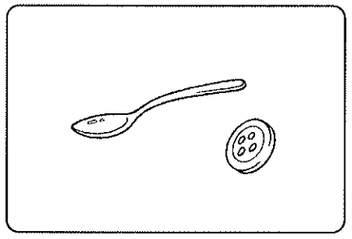
●モーターに負荷がかかり過ぎると自動的に製品を止める装置です。
●定格時間は「20分」です。それ以上連続使用するとモーターが過熱しプロテクターが作動して、製品が停止します。また、負荷がかかり過ぎた時にも同様に製品が停止します。
●いづれの製品もプロテクターは、モーターに内蔵しております。
●作動したときは、次の処置をしてください。



1 電源スイッチをOFF(切)にする。

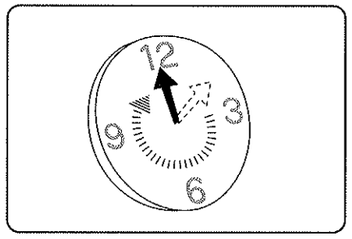


2 コンセントから電源プラグを抜く。



3 過負荷の原因を取り除く。

(例)氷以外の異物（スプーン・つま楊枝・ボタンなど）が切削室に入った場合は、刃物を取り外して（P.11参照）から異物を取り除いてください。また、刃物に損傷がないか確認してください。



4 1時間放置してください。

●自動的に復帰いたします。

※プロテクターがたびたび作動する場合は販売会社にご相談ください。

■安全スイッチについて

●氷削運転中に投入口フタを開けると、危険防止の為、安全スイッチが働き製品が停止します。
●安全スイッチを電源スイッチのかわりに使うことは絶対にしないでください。故障の原因になります。

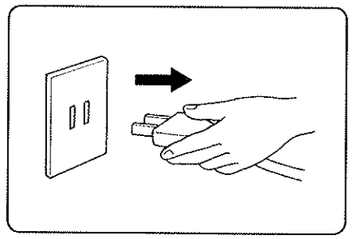
刃物の交換のしかた

⚠ 警告

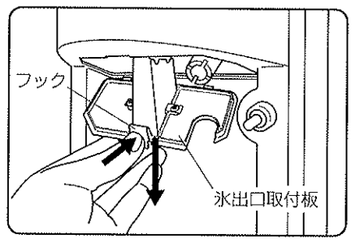
切削室内の掃除や点検・刃物交換のときは必ず電源スイッチをOFF(切)にして電源プラグを抜き、手袋をはめておこない、刃先に直接手を触れないこと。

ケガの原因になります。

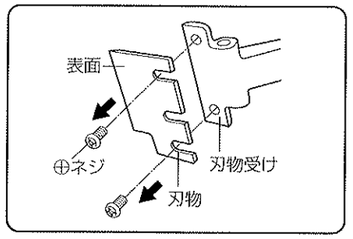
■スライス刃物の取り外し・取り付け方



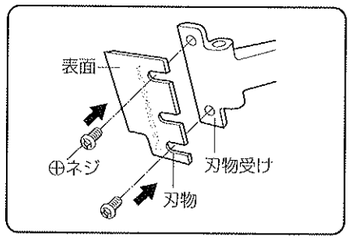
1 電源スイッチをOFF(切)にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。



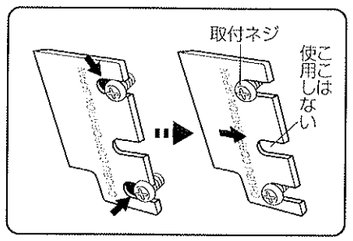
2 氷出口手前のフックを押えながら下へ引くと氷出口取付板が外れます。



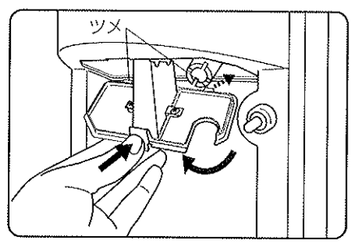
3 刃物受と刃物を取り付けている2本の⊕ネジを⊕ドライバーで取り外してください。



4 新しい刃物に⊕ネジを通して刃物受に軽く止めてください。刃物の向きは刻印が上図のようにしてください。



5 刃物取付穴2ヶ所のU字部が刃物取付ネジに当たるように押え、刃物取付ネジを固定してください。



6 氷出口取付板奥のツメ(2ヶ所)を本体取付口にはめ、フックを押えながら上方に押し上げて取り付けます。

※CS-120のクラッシュ刃物は単体では交換できません。
交換のときは、販売会社にお申し付けください。

お手入れ

⚠ 警告

製品に直接水をかけないこと

ショート、感電、錆び、故障の原因になります。

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

感電の原因になります。

切削室内を掃除する時は、必ず刃物を切削室内面より下げ、拭く時は必ず時計方向に拭くこと

ケガの原因になります。

切削室内の掃除や点検・刃物交換のときは必ず電源スイッチをOFF(切)にして電源プラグを抜き、手袋をはめておこない、刃先に直接手を触れないこと

ケガの原因になります。

氷出口や切削室内に手・指を入れた状態で刃物切換レバーを切り換えないこと

指をはさみ、ケガの原因になります。
(CS-120のみ)

⚠ 注意

可燃性スプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと

スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。

切削室・氷出口は使用前に必ず掃除をすること

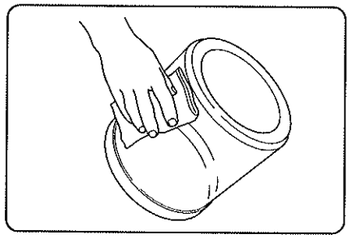
掃除をしないと、雑菌が繁殖し、健康傷害の原因になることがあります。

お願い

- ●40℃以上のお湯で洗わないでください。プラスチックが変形することがあります。
- ●プラスチック部には、つぎのようなものは使わないでください。プラスチック面をいためます。シンナー・ベンジン・アルコール・石油・粉石けん・みがき粉・アルカリ性洗剤・酸・次亜鉛素酸ソーダ・たわしなど。ただし、化学雑巾・アルコール除菌剤をご使用のときは、その「使いかた」に従ってください。

■毎日のお手入れ

●投入口フタ・ストッカーカバー・ストッカー・頭フレーム

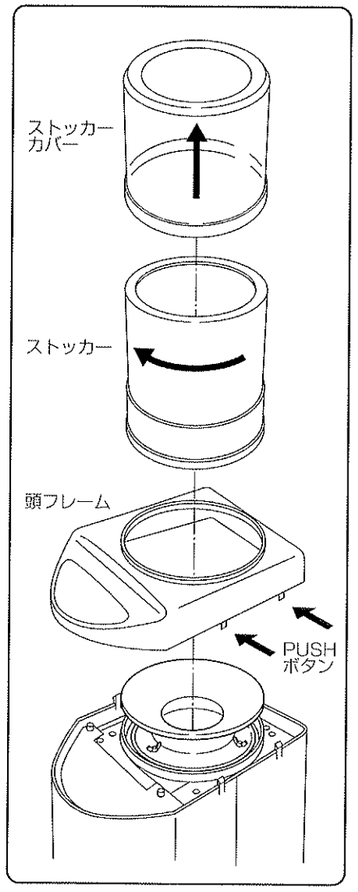


1 ぬるま湯を含ませたふきんでよく拭いたあと、乾いたふきんでよく拭きとってください。

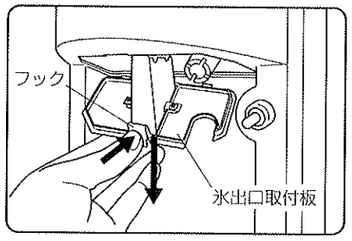
2 〈取り外し方〉
・ストッカーカバーは上方に持ち上げると外れます。

・ストッカーは両手で時計方向に回すとロックが外れます。上に持ち上げて外します。

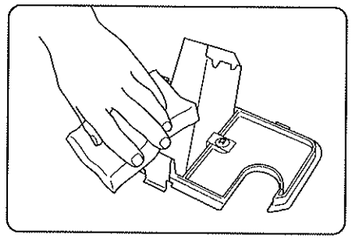
・頭フレームは「PUSH」ボタン（左右4ヶ所）を押さえロックを外し、持ち上げると外れます。



●氷出口



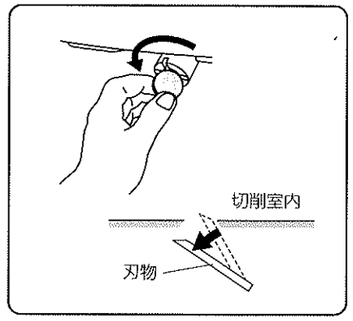
3 ■スライス刃物の取り外し・取り付け方（P.11）を参照して、氷出口取付板を外します。



4 ぬるま湯を含ませた布巾でよく拭いてください。氷出口内面はキズが付かないようスポンジ等軟らかいものをご使用ください。キズが付くと氷が詰まることがあります。

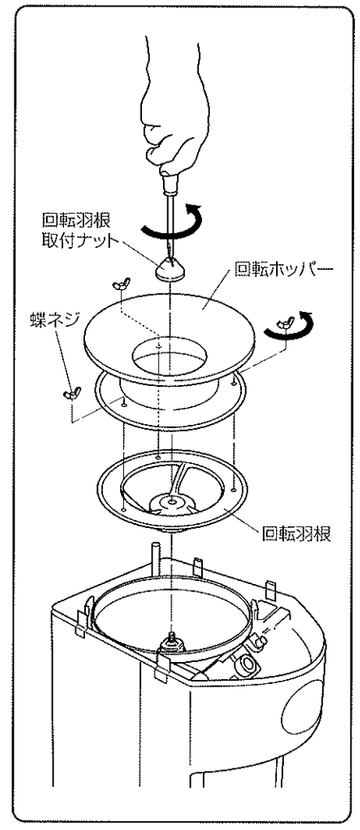
■一週間に一回のお手入れ

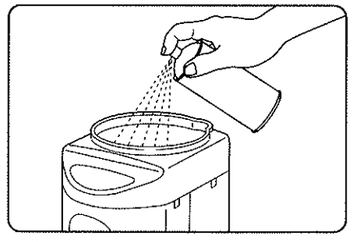
●切削室内



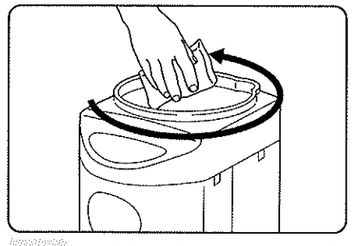
1 刃物調節ツマミをコインで反時計方向にいっぱい回して刃物を切削室内面より下げてください。

2 〈取り外し方〉
・回転羽根取付ナットをコインか㊀ドライバーで反時計方向にゆるめると回転ホッパーと回転羽根が外れます。
・回転ホッパーと回転羽根は蝶ネジ（3ヶ所）を手で反時計方向にゆるめると外せます。

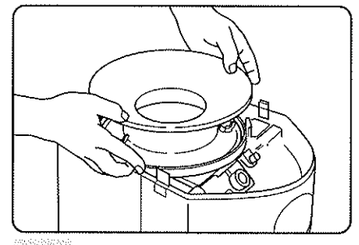




3 切削室内は市販の食器・調理起用アルコール（エチルアルコール）などを吹き付けてお手入れしてください。



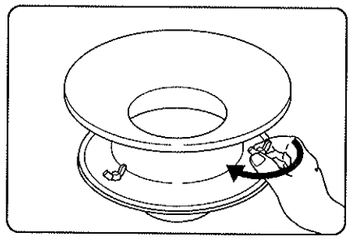
4 軟らかい布にぬるま湯を含ませて「時計方向」に拭いてください。※切削室内に直接水を掛けての掃除はしないでください。

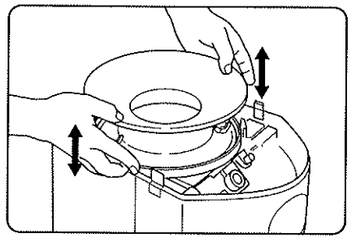


5 お手入れ後、逆の手順で組み立てます。

ご注意

- ●回転ホッパーと回転羽根は蝶ネジ（3ヶ所）を手で時計方向に確実に締めて組み立てます。
- ●次に回転羽根取付ナットをコインか⊖ドライバーで確実に時計方向に回し回転ホッパーと回転羽根を確実に締めつけてください。
- ●締め付けが弱いと回転羽根が刃物、または切削室内面に当たりますので確実に行ってください。

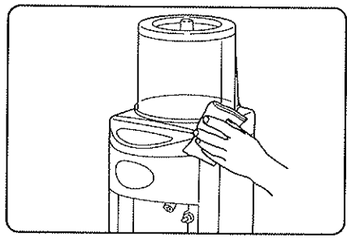




6 締め付け後、回転ホッパーと回転羽根の端を軽く手で押さえて、ガタツキのあるときは確実に固定されていないため、再度ガタツキの無いように回転羽根取付ナットを締め付け直してください。

■汚れが目立つときのお手入れ

●本体外面



1 軟らかい布にぬるま湯を含ませて拭いてください。落ち難い汚れはぬるま湯か水でうすめた食器用洗剤をしみこませた布で拭いてください。その後洗剤分が残らないように水拭きしてください。

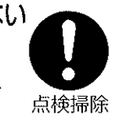
点検

■1年に1～2回の点検

⚠ 警告

電源プラグの刃及び刃の取り付け面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタツキのないように刃の根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。



電源コードを傷つけたり、汚さないこと

加工したり、引張ったり、たばねたり、重いものを載せたり、はさみ込んだり、また汚したりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。

アース線の点検

●アース線は切れたり、接続部がゆるんでいませんか？

異常がある場合は、電気工事店に依頼してください。

電源コード・プラグの点検

●専用コンセントを使用されていますか？

他の機器と共用になっているときは、専用コンセントに差し換えてください。

●電源プラグの刃の取り付け面及びコンセントに、ホコリが溜まっていませんか？

ホコリがついている場合は、ホコリを取り除いてください。

●電源コードが傷ついたり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだり、汚れていませんか？

異常がある場合は販売会社または、電気店に相談してください。

■保管方法

一週間以上使用しないときは、製品をを十分に乾燥させてから、湿気のないところに保管してください。

故障の見分け方と処置方法

⚠ 警告

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理しないこと
（刃物交換・お手入れ作業は除く）

異常作動してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。

分解禁止

お願い

●故障かな？と思ったら、次のことをお調べください。それでも具合の悪いときは、販売会社または最寄りの当社各営業所へご連絡ください。
販売会社へ連絡するときは、型式・製造番号・据付年月日と故障状況をお知らせください。

現　象	お調べいただきたいところ	処 置 方 法
製品が動かない	●電源プラグが抜け落ちていませんか？	●コンセントに差し込んでください。
	●投入口フタが開いていませんか？	●確実に閉めてください。
	●プロテクターが作動していませんか？	●プロテクターの項参照。(P.10参照)
製品は動くが氷が削れない	●刃先が十分出ていますか？	●刃物を出してください。
	●刃物が切れなくなっていませんか？	●刃物を交換してください。(P.11参照)
製品は動くが氷が砕けない（CS-120のみ）	●切換レバーがスライスになっていませんか？	●クラッシュに切り替えてください。

譲渡・廃棄

■譲渡

⚠ 注意

このお使いになっている製品を他に売ったり、譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つところにテープ止めすること

テープ止め

■廃棄

⚠ 注意

廃棄は専門の業者か、最寄りの販売会社に依頼すること

放置しますとケガの原因になることがあります。刃物の廃棄は危険な物として処理してください。

専門業者

仕様

品　名	アイススライサー	アイススライサー&クラッシャー
型　式	HC-120	CS-120
電　源	単相100V 50/60Hz	単相100V 50/60Hz
定格消費電力	130/115W	200/180W
定格電流	1.8/1.6A	2.3/1.8A
定格時間	20分	20分
氷収容量（キューブアイス）	約120個	約120個
質量（重量）	11kg	12kg
外形寸法(幅×奥行×高さ㎜)	234×322×652	234×322×652
氷削能力（kg/min）	1.2/1.6	1.2/1.6
砕氷能力（kg/min）	—	9.6/11.4